

半導体関連分野の連携を図る

熊本大学と地域連携協定を締結しました

3月16日、町と熊本大学は、半導体関連分野への対応をはじめとした教育・研究、人材育成などにおいて相互に連携・協力することを目的に、地域連携協定を締結しました。

本協定では、半導体関連分野に対応した教育や研究、人材育成の推進をはじめ、熊本大学共創学環の教育活動との連携、研究機関などの立地および集積など、幅広い分野での協力を進めていきます。

町では、半導体関連企業の立地が進み、地域の産業や社会環境が大きく変化しています。今回の協定を通じて、大学の知見や研究力を生かしなが、次世代を担う人材の育成につなげ、新たなまちづくりを進めていきます。



国立大学法人熊本大学と菊陽町との
知の集積の推進に向けた地域連携に関する協定の調印式

左から小川熊本大学学長、吉本町長、
富永県企画振興部長

半導体の高度な技術を体感

くまもと半導体グリーンイノベーション協議会による出前授業 in 菊陽北小

1月16日、菊陽北小学校のクラブ活動にて、(株)オジックテクノロジーによる出前授業を開催しました。これはくまもと半導体グリーンイノベーション協議会人材育成部会による次世代育成の取り組みです。

児童は、半導体装置に欠かせないめっきの役割を学んだ後、班ごとに実験に挑戦。真剣な表情で変化を観察する中、あちこちから驚きの声が上がりました。地域の高度な技術を体感したこの一日は、科学や地域産業への好奇心を育む貴重な機会となりました。



前のめりに説明を聞く参加者

学校図書のパレゼント

(株)鹿児島銀行から寄贈

1月29日、(株)鹿児島銀行が、「かぎんSDGs推進医療機関債」の一環として、社会医療法人熊本リハビリテーション病院の意向を受け、町内小・中学校8校へ学校図書96冊を寄贈しました。

寄贈式では、桑原公倫病院長から「子どもたちの知識や想像力を育む一助になればと思い寄付した」とあいさつがあり、吉本町長は「多様な価値観に触れ、夢や可能性を広げる機会となる」と感謝を述べました。



左から桑原熊本リハビリテーション病院長、
吉本町長、帖佐(株)鹿児島銀行熊本支店長

町民の後押しで5連勝達成

熊本ヴォルターズ町民応援デーを初開催しました

1月31日、県立総合体育館で青森ワッツとの試合が行われ、多くの町民の皆さんが応援に駆けつけました。これは、町と熊本ヴォルターズが締結している『「スポーツの力」で『地域の活力』を創造する連携協定』に基づき、町民300人を無料招待したものです。

この試合は、BLACK VOLFESとして開催し、多くの人々が来場しており、会場が黒く染められとても盛り上がりしていました。

当日、熊本ヴォルターズは町民の皆さんの熱い声援を背に青森ワッツを破り、見事5連勝を果たしました。



客席は満員で、白熱した試合の様子

力走でたすきをつなぐ

第52回都市対抗熊日駅伝が開催されました

2月8日、第52回都市対抗熊日駅伝が、天草市陸上競技場～熊本市上通アーケード前をコースとする全18区間(100.5キロ)で開催されました。とても厳しい寒さの中、菊池郡市チームは総合3位という結果でした。8区を走った藤川遥さん、15区を走った佐藤大和さんが区間賞を獲得されました。

町関係の出場者

監督	くぼた しげる 久保田 茂さん		
コーチ	ごうし さだおみ 合志 貞臣さん	かい のりこ 甲斐 典子さん	
選手	さとう やまと 佐藤 大和さん	まさおか ゆうと 正岡 優翔さん	たなか こうすけ 田中 洸丞さん
	かい いち 甲斐 偉知さん	ほんかわ れんと 本川 蓮翔さん	たなか さえ 田中 沙英さん
	しみず みわ 清水 実和さん	ふじかわ はるか 藤川 遥さん (キャノンアスリートクラブ九州)	



駅伝に出場した菊池郡市チーム

1年間の集大成と家族への感謝を込めて

町ジュニアリーダー閉講式

2月22日、町ジュニアリーダーの閉講式を中央公民館で開催しました。参加した8人のリーダーは、1年間の活動で培った力を発表するとともに、支えてくれた家族への感謝を込めて、ネイチャーゲームや防災食でもてなしを行いました。防災食では、パッキングによるおでんづくりや、空き缶を再利用した炊き込みご飯づくりに挑戦しました。

ジュニアリーダーは、年間18回の活動を通して多様な経験を積み、地域や学校で活躍するためのスキルを身に付けました。

参加したリーダーの1人は、「1年間の活動を通して、人と関わることや町を支えることができ楽しかった。子ども会大会の運営補助では、バルーンアートやゲームを通して子どもたちの笑顔やさまざまな表情を見ることができた。また、1年前は参加者として競技していた自分が、今はジュニアリーダーとして活動していることに喜びを感じた」と、1年間を振り返りました。



1



3

1. 閉講式を終え、笑顔あふれるジュニアリーダーたち
2. 防災食(パッキング)を作る様子
3. ネイチャーゲーム進行の様子

地域をより美しく

シルバー人材センターが清掃活動

3月7日、菊陽町シルバー人材センターの会員と職員約80人が役場周辺で清掃活動を行いました。

この活動は、地域社会への貢献とセンターを地域住民の皆さんに広く知ってもらうために、年2回実施しているものです。

今回は役場前植栽帯の除草および庁舎内の剪定、周辺のごみ拾いを行いました。



手分けして清掃活動に取り組む

熱戦！子ども会ドッチビー大会

第13回菊陽町子ども会ドッチビー大会

2月1日、町総合体育館で菊陽町子ども会ドッチビー大会を開催しました。町内の子ども会から15チーム、総勢112人が参加し、Aパート(リーグ戦)とBパート(Aブロック・Bブロック)に分かれて試合が行われました。ドッチビーとは、ドッジボールとフリスビーを組み合わせたスポーツで、ウレタン製の柔らかいディスクを使用するため、安全に楽しめるのが特徴です。試合では、仲間と声を掛け合いながらディスクをつなぎ、白熱した試合が繰り広げられました。

試合を重ねるごとに動きも活発になり、最後まで諦めずにプレーする姿が印象的でした。白熱したプレーの連続に、会場は大きな声援と拍手に包まれました。また、町ジュニアリーダーも準備や運営を行い、大会を支えました。他地区の仲間との交流も深まり、思い出に残る一日となりました。

大会結果は次のとおりです。

【Aパート(低学年)】

- 優勝 沖野Aチーム(沖野)
- 準優勝 緑陽台ウインド(緑陽台)
- 第3位 緑陽台ムーン(緑陽台)

【Bパート(全学年)】

- 優勝 緑陽台バード(緑陽台)
- 準優勝 チームshimobaruモンスターズ(下原)
- 第3位 チームBABA(馬場)



Aパート優勝「沖野Aチーム」



Bパート優勝「緑陽台バード」



狙いを定めてスロー！

長年の貢献をたたえる

文部科学大臣表彰を受賞

2月6日、文部科学省で行われた表彰式で、子ども会会長井手上裕一さんが青少年教育の部、くまもと家庭教育支援チーム「チーム菊陽」が家庭教育支援チームの部、菊陽北小学校PTAが優良PTAの部で受賞されました。長年にわたる継続的なご尽力と大きな貢献が、今回の表彰の大きな決め手となりました。表彰を受けた3人は吉本町長や二殿教育長へ受賞の報告を行いました。



井手上会長(左)内田トレーナー(中央)島田校長(右)

地域ボランティア賞受賞

- 熊本善意銀行の2025年度地域ボランティア賞の9団体が発表され、代表として武蔵ヶ丘7町内の「ほほえみの会」に1月21日、表彰状と助成金が贈られました。
- ほほえみの会は、2006年(平成18年)12月に発足。顧問男性1人、女性メンバー10人で、毎週水曜日に「きくちゃん体操」という、いすに座ってできる健康体操を行っています。毎回25～6人参加、90歳以上が6人、最高齢99歳で、参加者全員が生き生きと過ごしています。また、同会は、月1回のサロン運営や各団体との交流、施設訪問なども実施し、ハンドベル演奏なども行っています。